

上越市議会 議長
滝澤 逸男 様

2010年6月11日

在来線と地域のあり方を考える直江津・頸城の会

代表 仲田紀夫

在来線を守る三市連絡会

代表 尾崎靖弘

並行在来線の経営・運営のあり方に関する要請書

貴職におかれましては日頃より市民の声を生かした議会運営に尽力されていることに敬意を表します。

新潟県と上越市・妙高市の6月議会に、並行在来線の運営していく経営主体を設立するための出資金にかかわる補正予算等が提案されています。私たちはこれまで「政府・与党合意見直し」を目標の中心に掲げて活動してきました。昨年12月には前原国土交通大臣が「政府・与党合意見直し」を言明しており、その後、国土交通省・沿線各県・JR等で8者会議が設けられ、並行在来線のあり方等が協議・検討されています。新潟県においても新潟県並行在来線開業準備協議会の中の経営委員会で様々な検討が行われております。

こうした時期の経営主体設立は、あまりにも唐突であり、拙速でもあります。並行在来線の安定的な存続のためには「政府・与党合意見直し」が肝心要との立場から以下の要請をするものです。

—記—

1. 貴議会は本年3月議会で「JRの経営参画を含め『政府・与党申し合わせ』を抜本的に見直すこと」を求めた意見書を採択していますが、この意見書の主旨に沿って行動・審議すべきです。
2. 三セク先にありきの拙速を避け、国土交通省・沿線各県・JR等の8者会議での協議・検討、新潟県並行在来線開業準備協議会の経営委員会の方針を受け、経営主体のあり方を明確にした後に議会で審議すべきです。
3. これまで沿線3市は協調して並行在来線問題に対処してきましたし、貴議会も「上越地域3市議会並行在来線対策協議会」に参画して各方面に働きかけてきました。今回の出資金問題についても、3市及び3市議会が足並みをそろえていくよう、上越市議会としてイニシアティブを発揮すべきです。

以上